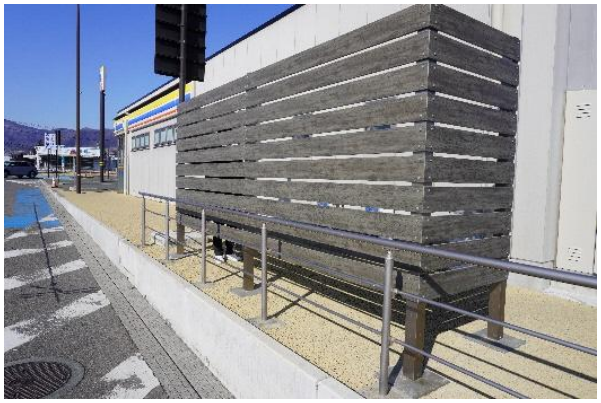
令和７年度　道の駅国見あつかしの郷（KPI）

１．道の駅国見あつかしの郷　重要業績評価指標（KPI）

【道の駅の目的】
道路利用者への安全で快適な道路交通環境・情報の提供地域の振興や安全の確保に寄与
【道の駅の基本コンセプト（国交省）】
（１）休 憩 機 能・・・ 24 時間無料で利用できる駐車場、トイレなどの提供
（２）情報発信機能・・・道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などの提供
【道の駅国見あつかしの郷独自コンセプト】
（３）地場特産品等の販売等による地域産業の振興機能・・・町内生産者の農作物等の販売、飲食部門での利用等
（４）地域の防災拠点機能・・・物資受入提供、防災倉庫、避難者休憩、物資仕分、炊出し等

（１）休憩機能の充実
快適な休憩のためのくつろぎの空間提供

（令和３年度）	→	（令和４年度）	→	目標達成（令和５年度）
０箇所（０%）		０箇所（０%）		１箇所（100%）

内　容	道の駅の景観向上と分煙対策のため、開放系（囲いのみ）の屋外喫煙所を１箇所設置する。
算定式	設置数（1 箇所）÷ 計画数（1 箇所）×100
経　過	令和５年度　屋外喫煙所設置  

（２）情報発信機能の充実

道路利用者や地域の方々のための情報発信

（令和３年度）	→	（令和４年度）	→	目標達成（令和５年度）
０箇所（０%）		０箇所（０%）		１箇所（100%）

内　容	大きな町内案内地図を設置する。
算定式	設置数（1 箇所）÷ 計画数（1 箇所）×100
経　過	デジタルサイネージに町内案内地図を表示し情報を発信。



（３）地域産業の振興

①町内生産者等による対面販売

（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）	目標（令和８年度）
０回（０%）	５回（83%）	18回（300%）	14回（233%）	16回（266%）	年６回（100%）

内　容	くにみ市場での町内生産者等の対面販売の取組回数
算定式	実施回数 ÷ 目標回数（年６回）×100
経　過	令和４年度 きらきら収穫隊１回 農友会　１回 かあちゃんズ　１回 くにみマルシェ２回 合計　５回 令和５年度 きらきら収穫隊　２回 農友会　４回 かあちゃんズ　１回 野菜づくり研究会１回 米づくり研究会　１回 くにみ朝市　９回 合計　１８回 令和６年度 きらきら収穫隊　２回 農友会　４回 米づくり研究会　１回 くにみ朝市　７回 合計　１４回 令和７年度 きらきら収穫隊　２回 農友会　３回 米づくり研究会　１回 くにみ朝市　７回 くにみタ市　１回 三栗野むぎ農園　２回 合計　１６回

②施設利便性の向上

（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）	目標（令和８年度）
０%	76.6%	68.4%	74.8%	74.4%	80%

内　容	来店客アンケートでの高評価の回答割合
算定式	高評価の回答数 ÷ 全アンケート数 × 100
経　過	令和４年度 満　足　２１２件（49.5%） やや満足　１１６件（27.1%） 計　３２８件（76.6%） 全アンケート数４２８件 令和５年度 満　足　５４件（55.1%） やや満足　１３件（13.3%） 計　６７件（68.4%） 全アンケート数９８件 令和６年度 満　足　４７件（49.5%） やや満足　２４件（25.3%） 計　７１件（74.8%） 全アンケート数９５件 令和７年度 満　足　６４件（52.9%） やや満足　２６件（21.5%） 計　９０件（74.4%） 全アンケート数１２１件

③販売農作物の品質の向上

（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）
販売農作物に係る返金額（未調査） 販売農作物に係る代用品対応件数（未調査）	販売農作物に係る返金額　80,620 円 販売農作物に係る代用品対応件数 77 件	販売農作物に係る返金額　136,820 円 販売農作物に係る代用品対応件数 93 件

目標（令和８年度）	（令和７年度）	（令和６年度）
販売農作物に係る返金額　0円 販売農作物に係る代用品対応件数０件	販売農作物に係る返金額　83,920 円 販売農作物に係る代用品対応件数 67 件	販売農作物に係る返金額 121,500 円 販売農作物に係る代用品対応件数 93 件

内　容	販売農作物に係る返金・代用品対応を減らす。														
算定式	販売農作物に係る返金額を０円にする。　販売農作物に係る代用品対応件数を０件にする。														
経　過	令和４年度			令和５年度			令和６年度			令和７年度					
	野菜果実	43 件	22,200 円	野菜果実	40 件	34,320 円	野菜果実	38 件	17,100 円	野菜果実	26 件	12,990 円			
	桃	25 件	50,500 円	桃	43 件	94,400 円	桃	45 件	95,500 円	桃	34 件	67,930 円			
	加 工 品	25 件	50,500 円	加 工 品	8 件	6,900 円	加 工 品	8 件	6,400 円	加 工 品	5 件	3,000 円			
	工芸粗品	3 件	4,380 円	工芸粗品	3 件	1,200 円	工芸粗品	2 件	2,500 円	工芸粗品	2 件	0 円			
	合　計	77 件	80,620 円	合　計	93 件	136,820 円	合　計	93 件	121,500 円	合　計	67 件	83,920 円			

（４）地域の防災拠点

宿泊者が安心して泊れるような災害時等対応体制の整備

（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）	目標（令和８年度）
未実施（0%）	未実施（0%）	未実施（0%）	１回（100%）	１回（100%）	１回（100%）

内　容	道の駅 BCP（事業継続計画）に基づく定期訓練を行う。
算定式	訓練実施数 ÷ 目標回数（年１回）× 100
経　過	令和５年度に簡易版 BCP（事業継続計画）を策定し、令和６年度に正規版 BCP（事業継続計画）を策定（R7.1 国土交通省へ提出）。 令和７年度は総合訓練を５月、部分訓練を 11 月に実施。また１２月には正規版 BCP（事業継続計画）を更新。

令和７年度　こども木育広場つながる～む（KPI）

２．こども木育広場つながる～む　　重要業績評価指標（KPI）

【こども木育広場つながる～むの目的】
　子どもたちが安心して遊べる安全な場所を確保する
【こども木育広場つながる～むの基本コンセプト】
（１）地域連携機能・・・子育て支援の充実を図る交流施設等の提供

（１）地域連携機能の充実
　　子育て支援の充実を図る交流施設機能の充実

（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）	目標（令和８年度）
０件（０%）	０件（０%）	０件（０%）	０件（０%）	０件（０%）	２箇所（100%）

内　容	木育広場、原っぱ広場（屋外遊具）などでの魅力的な遊具の充実
算定式	実施個所数（２箇所）÷ 計画箇所数（２箇所）×100
経　過	令和７年度　魅力的な遊具の導入には至らず

令和７年度　国見町農産物加工施設 momo･co（KPI）

３．国見町農産物加工施設 momo･co　　重要業績評価指標（KPI）

【農産物加工施設の目的】
農産物加工の技術向上と人材育成を図り、農業の６次産業化を推進する。
【農産物加工施設の基本コンセプト】
（１）農産物加工に関する技術の普及指導　　（２）農産物加工に関する人材育成

（１）農産物加工に関する技術の普及指導
試作加工品の製造利用件数

（令和３年度）	（令和４年度）	（令和５年度）	（令和６年度）	（令和７年度）	目標（令和８年度）
０件（０%）	７件（58%）	17件（141%）	23件（191%）	52件（433%）	年12件（100%）

内　容	施設を利用して農産物の加工・製造を行う。
算定式	農産物の加工・製造を目的とした利用件数 ÷ 目標利用件数（年１２件）×100
経　過	令和４年度　試作品開発として７回貸出 令和５年度　一次加工として17回貸出 令和６年度　一次加工として23回貸出 令和７年度　施設見学（７団体等※福島県県産品加工支援センターとふくしま６次化創業塾36名含む） 試作品開発として８回貸出（３団体等） 一次加工・商品開発として４４回貸出（２団体等）

（２）農産物加工に関する人材育成

生産者の交流連携のための利用件数

（令和３年度）	→	（令和４年度）	→	（令和５年度）	→	（令和６年度）	→	（令和７年度）	→	目標（令和８年度）
０件（０%）		７件（58%）		17件（141%）		23件（191%）		52件（433%）		年12件（100%）

内　容	施設を利用して生産者同士が交流連携する。
算定式	交流連携を目的とした利用件数 ÷ 目標利用件数（年１２件）× 100
その他	令和４年度　試作品開発として７回貸出 ※今回の試作品開発は、国見町で農業を営む若手就農者等が参加した取組みがあった事で、次年度へ繋がる交流連携となった。 令和５年度　一次加工として１７回貸出。 ※国見産の「あんず」を利用し、当施設の機械でどこまでの加工工程が可能なのか考察しながら試作を行った。 　また、見学説明会では５組の生産者・加工業者などが意見交換する良い場となったため、引き続き交流連携を行っていく。 令和６年度　一次加工として23回貸出（６月８日～７月14日） ※昨年の実績を踏まえ、農福連携として伊達市の就労継続支援事業所と精神障がい者の施設外就労の取組みを実施。 　入所者の自立支援の為、農産物の一次加工を通じて社会復帰に貢献。 令和７年度　試作品開発として８回貸出（３団体等）、・商品開発として４４回貸出（２団体等） 【事業者①（国見町）】国見町産のあんずを使用し、農福連携で一次加工をしている。 【事業者②（保原町）】麹を使った発酵食品の試作、バーガーの試作（キッチンカー出店）を実施。将来的には国見産の麹やあつかしさんの酒粕を使いたいとの意向あり。 【事業者③（桑折町）】半田銀山そばの活性化の一環として試作で使用。道の駅で伊達地区の特産品として販売したいとの意向があり開発中。 【個人①（国見町）】巨大化したさつまいもを加工して干し芋を作り販売。 【事業者④（桑折町）】ももものスムージーやドリンクの試作で使用。令和８年度にキッチンカーで出店して販売をしたいとの意向があり。規格外桃の有効活用。